

研究員の眼

投信市場でもトランプシフト ～2024年11月の投信動向～

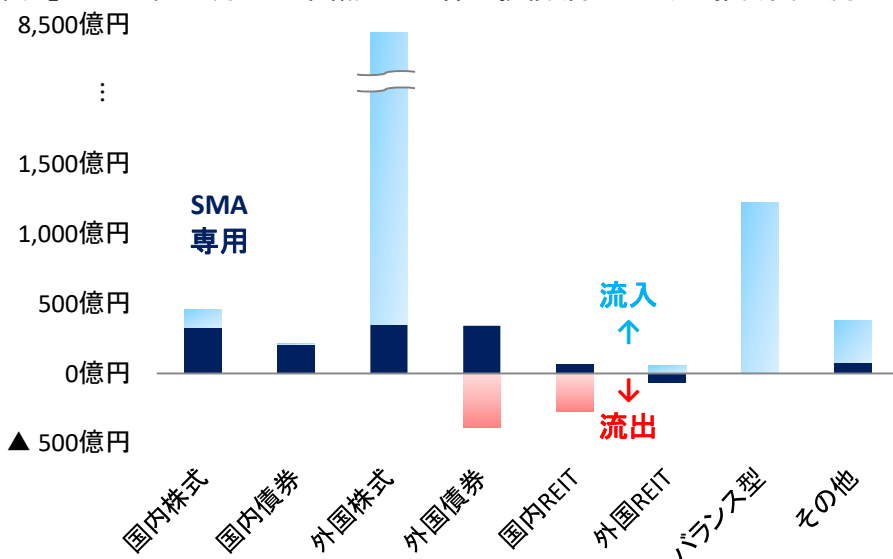
金融研究部 主任研究員 前山 裕亮
(03)3512-1785 ymaeyama@nli-research.co.jp

インデックス型の米国株式ファンドで流入増加

2024年11月の日本籍追加型株式投信（ETFを除く。以降、ファンドと表記）の推計資金流出入をみると、外国株式ファンドに8,400億円の資金流入があった【図表1】。2024年に入って最小だった10月の7,300億円から増加した。

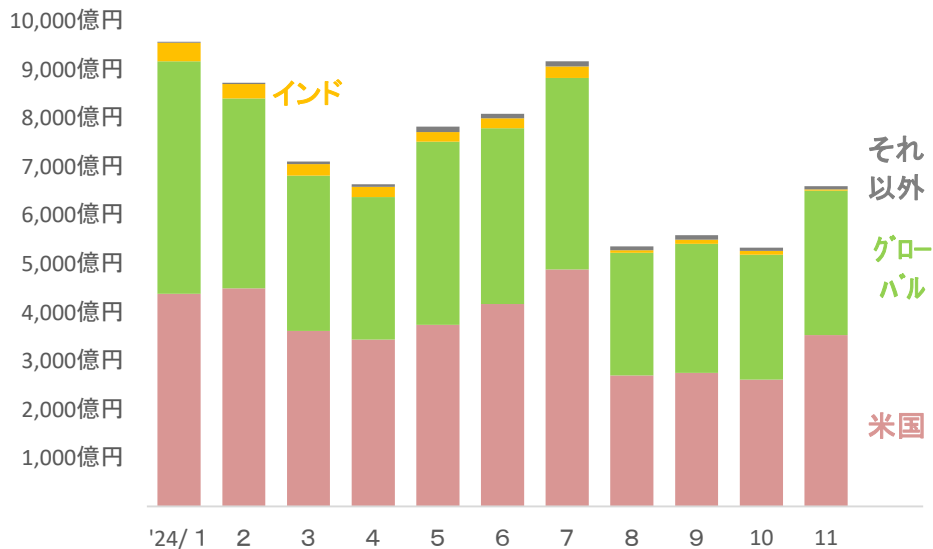
一般販売されている外国株式ファンドをタイプ別にみると、インデックス型に6,600億円の資金流入があり、10月の5,300億円から1,300億円増加した。インデックス型の外国株式ファンドは8月以降、5,500億円前後の資金流入が続いていたが、11月は久々に資金流入が増え6,000億円超の純流入となった【図表2】。インデックス型の外国株式ファンドの中では、特に米国株式ファンド（赤棒）に3,500億円の資金流入があり、10月の2,600億円から増えた。個別にみても11月は、「eMAXIS Slim米国株式（S&P500）」が2024年になって初めて最も資金流入が多かった【図表3】。

【図表1】2024年11月の日本籍追加型株式投信（除くETF）の推計資金流出入



（資料）Morningstar Direct より作成。各資産クラスはイボットソン分類を用いてファンドを分類。

【図表2】インデックス型の外国株式ファンドの資金流出入



(資料) Morningstar Direct より作成。SMA 専用ファンドは除外。2024 年 11 月のみ推計値。

【図表3】2024 年 11 月の推計純流入ランキング

	ファンド名	運用会社	10月の 流出入	11月の推計 純流入	純資産 11月末時点
1位	eMAXIS Slim 米国株式(S&P500)	三菱UFJアセットマネジメント	1,325億円	1,683億円	6兆 358億円
2位	eMAXIS Slim 全世界株式(オール・カントリー)	三菱UFJアセットマネジメント	1,491億円	1,587億円	4兆7,181億円
3位	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信D毎月(ヘッジなし)予想分配金提示	アライアンス・バーンスタイン	720億円	1,023億円	3兆1,750億円
4位	インベスコ 世界厳選株式オープン(為替ヘッジなし)(毎月決算型)	インベスコ・アセット・マネジメント	521億円	687億円	1兆6,837億円
5位	ニュートン・パワー・イノベーション・ファンド(為替ヘッジなし)	三井住友DSアセットマネジメント	689億円	355億円	1,079億円
6位	楽天・高配当株式・米国ファンド(四半期決算型)	楽天投信投資顧問	458億円	308億円	790億円
7位	楽天・プラス・S&P500インデックス・ファンド	楽天投信投資顧問	227億円	286億円	3,624億円
8位	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Bコース(為替ヘッジなし)	アライアンス・バーンスタイン	162億円	252億円	1兆5,364億円
9位	フィデリティ・グロース・オポチュニティ・ファンドD(毎月・予想分配・ヘッジ無)	フィデリティ投信	99億円	221億円	1,135億円
10位	SBI・V・S&P500インデックス・ファンド	SBIアセットマネジメント	174億円	221億円	1兆9,446億円

(資料) Morningstar Direct より作成。ETF、SMA・DC 専用ファンドは除く。

NISA口座からの駆け込みは限定的

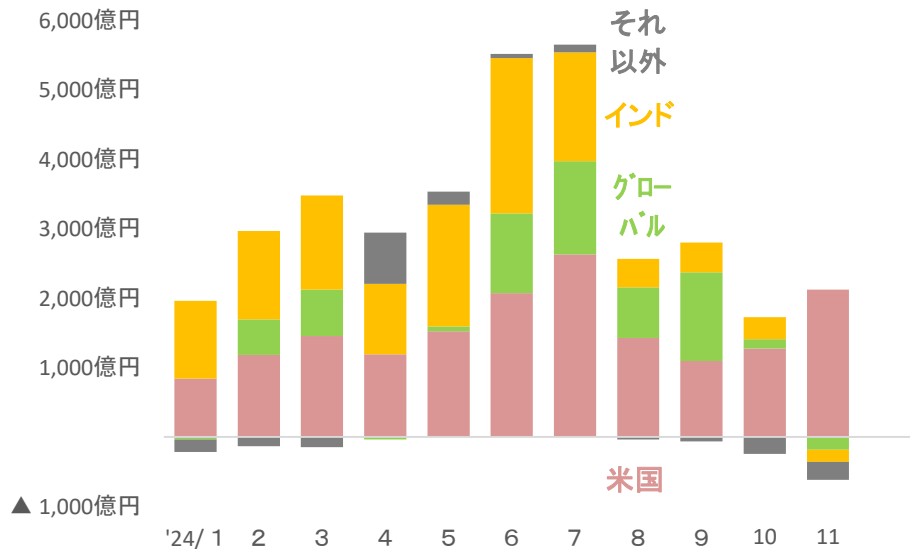
例年、つみたてNISA口座では年末に向けて駆け込みで投資枠を使い切るため買付が増え、それに伴ってインデックス型の外国株式ファンドの資金流入が11月、12月に膨らむ傾向があった。とはいえ、新NISAでは制度自体が恒久化されるとともに1,800万円の限度額が定められた。2024年に買付けなかった分は翌年以降に買付けることができるため、慌てて2024年の投資枠を使いきる必要性が低くなった。それもあって11月は、年間の投資枠を使いるためNISA口座から買付が増えたというよりは、米大統領選挙を通過し米国株式に対する期待感から流入が膨らんだ可能性の方が高そうである。

ちなみに、一般販売されているインデックス型のグローバル株式ファンド(緑棒)も11月に3,000億円の資金流入があり、10月の2,600億円から400億円増加した。しかし、そのうち300億円分が確定拠出年金(DC)専用ファンドへの増加であり、NISA口座経由で資金流入が増えている様子はあまり見られなかった。

アクティブ型でも米国株式

一般販売されているアクティブ型の外国株式ファンドも、全体だと1,500億円の資金流入と10月と同規模であったが、米国株式ファンド(赤棒)に限ると2,100億円の資金流入と10月の1,300億円から増加した【図表4】。アクティブ型でも米国株式ファンドの販売が好調だった様子である。

【図表4】アクティブ型の外国株式ファンドの資金流入



(資料) Morningstar Direct より作成。SMA 専用ファンドは除外。2024 年 11 月のみ推計値。

【図表5】2024 年 11 月の高パフォーマンス・ランキング

順位	ファンド名	運用会社	11月の収益率	過去1年収益率	純資産 11月末時点	11月の推計 流入/流出
1位	グローバル・フィンテック株式ファンド(為替ヘッジあり・年2回決算型)	日興アセットマネジメント	20.0%	53.6%	81 億円	-3億円
2位	グローバル・フィンテック株式ファンド(為替ヘッジあり)	日興アセットマネジメント	19.9%	53.9%	104 億円	-2億円
3位	グローバル・フィンテック株式ファンド(年2回決算型)	日興アセットマネジメント	17.5%	66.6%	1,135 億円	-51億円
4位	グローバル・フィンテック株式ファンド	日興アセットマネジメント	17.5%	66.6%	1,558 億円	-48億円
5位	グローバル・プロスペクティブ・ファンド	日興アセットマネジメント	16.9%	30.5%	3,995 億円	-143億円
6位	米国IPOニューステージ・ファンド(為替ヘッジあり)(年2回決算型)	三菱UFJアセットマネジメント	16.5%	52.0%	22 億円	-1億円
7位	米国IPOニューステージ・ファンド(為替ヘッジあり)(資産成長型)	三菱UFJアセットマネジメント	16.5%	52.1%	68 億円	-2億円
8位	eMAXIS Neo 水素エコノミー	三菱UFJアセットマネジメント	16.3%	11.3%	14 億円	-1億円
9位	グローバル・スペース株式ファンド(1年決算型)	日興アセットマネジメント	16.0%	36.9%	278 億円	-19億円
10位	グローバル・スペース株式ファンド(年2回決算型)	日興アセットマネジメント	16.0%	36.9%	179 億円	-5億円

(資料) Morningstar Direct より作成。2024 年 11 月末残高が 10 億円以上の ETF、ブル・ベア型以外のファンドでランキング。

その一方で米国株式以外のアクティブ型の外国株式ファンドは、11 月に 600 億円の流出超過であった。11 月は一部のテーマ型の外国株式ファンドが高パフォーマンスをあげていたが、そのようなファンドは軒並み売却超過であり、利益確定売りが膨らんだようだ【図表 5】。アクティブ型のインド株式ファンド（【図表 4】黄棒）でも、年初は米国株式以上に資金流入していたが、11 月は少額ながら資金流出に転じた。

米国株式ファンド以外は冴えない

また、国内株式ファンドは 10 月に 2024 年に入って初めて資金流出になったが、11 月は再び資金流入に転じた。ただし、一般販売されているアクティブ型に限ると流出額こそ 500 億円と 10 月の 600 億円からやや減少したが、2 カ月連続の資金流出していた。また、一般販売されているインデックス型でも、11 月に 600 億円の資金流入に転じたが、日経平均株価が 3 万 9,000 円を超えていた上旬は流出基調であり、地合い自体は決して強くなかった。

内外株式以外のファンドについても一般販売されているものに限ってみると、外国 REIT ファンドは資金流入が 11 月にほぼ止まり、国内 REIT ファンドは資金流出がやや増加した。外国債券ファンドは、11 月に新設されたファンドが計 300 億円集めたにも関わらず、全体で見ると 10 月と同規模の 400 億円の資金流出があった。バランス型ファンドには 1,200 億円の資金流入があり、10 月から 300 億円

増加したが、増加したほとんどがDC専用ファンドだった。

このように 11 月は米国株式ファンド以外冴えなかったが、ファンド全体に 1 兆 400 億円の資金流入があり、2024 年に入って最小だった 10 月の 8,000 億円から 2,400 億円増えた。

(ご注意) 当資料のデータは信頼ある情報源から入手、加工したのですが、その正確性と完全性を保証するものではありません。当資料の内容について、将来見解を変更することもあります。当資料は情報提供が目的であり、投資信託の勧誘するものではありません。